

日 時	2017年 7月 27日(木)～2017年 7月 28日(金)
	午後 3時 30分 ～ 視察終了時間 午後 2時 00分
研修名 場所等	富山型デイサービス「このゆびとまれ」27日
	富山市まちなか総合ケアセンター28日
	シェア金沢 28日
目的・内容	富山市、金沢市の地域包括ケアのハード面、ソフト面での視察研修

富山型デイサービス「このゆびとまれ」、富山市まちなか総合ケアセンター、シェア金沢と「お年寄りはお年寄りの施設」「しょうがい者はしょうがいの者の施設」と区別することなく高齢者、子ども達、赤ちゃん、しょうがいがあってもなくても、いろいろな人たちを同じ施設、エリアでサポートできる先進市を視察研修しました。先日、桑名市でも大山田コミュニティプラザ1Fで「福祉なんでも相談センター」を立ち上げましたが、サポートまでは弱いと思いこの度、代表します2市にいきました。



成果・所感	
-------	--

【富山型デイサービス「このゆびとまれ」】

1973年、富山赤十字看護学院卒業後、看護師として同病院に勤務をされ、最後の4年間内科で勤務して高齢者の病院での死に疑問を感じ仲間の看護師2人と退職をし、高齢者・子ども・しょうがい者をまとめてお世話をするデイサービスを立ち上げた、惣万代表に富山型デイケアサービスについてお話しを伺いました。行政の縦割りで三事業をまとめるデイサービスには助成金がつかず、資金の工面で苦勞をしたが、3人の退職金や全国からの寄附金で開所が出来たという事でした。現場で惣万代表と会派をしながら感じたのは、高齢者やしょうがい者が子どもの面倒をみることで、笑い顔が後を絶たず、時には喧嘩もあるようですが、皆が助け合う本来の普通で大家族のようでした。惣万代表からは、普通の老人ホームだと、お年寄りたちが全く話もせず一日過ごしている方が多く、子どもと一緒に笑ったり、怒ったり、歌をうたったりすることがどなりハビリよりも効果的だと現場を見て納得しました。誰がスタッフで利用者か分からないような時もありました。現在はこの事業も行政に理解され、柔軟な補助金を出す方法となっているようです。



2015年には、赤十字国際委員会が看護活動の功績をたたえる世界最高の記章「フローレンス・ナイチンゲール記章」を授与されたようです。

桑名市も先日、大山田コミュニティプラザ1階で「福祉なんでも相談センター」を開始しましたが、受け身ではなく、惣万代表のようなキーとなるような方と一緒に「赤ちゃんからお年寄りまで、しょうがいがあってもなくても一緒にケアする活動方式と、行政の柔軟な補助金の出し方を採用すべきかと感じました。桑名市の地域包括ケアシステムが立ち上がっていますが高齢者には強いシステムであるが、子どもやしょうがい者には少し弱い気が惣万代表の話から理解できました。

「このゆびとまれ」の特徴の一つとして、かつて利用者としてここに来たしょうがい者が、今では有償ボランティアとして働いており【当事者性を生かした循環型支援】でもあると思いました。



【富山市まちなか総合ケアセンター（地域包括ケア拠点施設の整備）総曲輪レガートスクエア】

富山市でも地域における現状と課題

- ・核家族化、ひとり親世帯、高齢者世帯の増加
- ・世帯単位での複合的課題を抱える家族の増加
- ・隣近所、地域のつながりの希薄化

●地域包括支援センター（32カ所）

●ケアマネジャー（130事業所）

●行政関係各課（高齢・介護・しょうがい・子育て・生活保護担当課等）

●保育所（保健福祉センター）

●児童相談所

●診療所

と特定の対象者への支援を考えました。

まず平成27年4月に『産後の母親支援に関するアンケート』を実施したようです。そこから見えてきたものは、産後のうつで、社会構造の変化で子供が精神的な問題を抱えてしまうリスクがある事が分かりました。母親の約6割が、子育てに不安、負担を感じており、出産後から産後1ヶ月頃に子育てで大変さを感じている母親が最も多いようでした。未就学児が病気の際は、子どもが体調を崩したとき、父母が仕事を休んで診てあげたくても、仕事ですぐに迎えに行けないことが分かりました。発達が気になる子どもでは、気づきの段階からの早期支援と子どもの成長に合わせた切れ目のない支援が必要のようです。特に多くの親は、2歳までに「違和感」を感じているようでした。

高齢化に対応したまちづくり

住民基本台帳から中心市街地は高齢者が多いことが分かりました。このことから公共交通を軸とし

- ・家族で問題解決できない
- ・隣近所や地域からの支障がない
- ・**高齢者・母子・しょうがいという縦割りの公的支援では解決できない。**

医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が必要となり、地域の自主性や主体性にに基づき、地域の特性に応じて作り上げていく事も重要となり、中心市街地に総曲輪小学校跡地で PPP【公民連携】事業による、総曲輪レガートスクエアを完成させたようです。その一角に福祉サービスを総合的に提供する中心拠点『富山市まちなか総合ケアセンター』が完成しました。ソフトの面でも平成 25 年から在宅医療、在宅介護推進のための調査・研究、講演会（プライマリケア講座）。健康まちづくりを推進するマイスターを養成（・健康まちづくりマイスター養成講座・地域包括的情報交換会・健康まちづくりフォーラム）マイスター養成と人材育成を開始している。

総曲輪レガートスクエアの施設図

乳幼児から高齢者まで地域住民が安心して利用できる複合施設。

1 D-Parking 5階建て3250台の直立式駐車場。1階には「ママの産後ケア」をテーマとした「ローンジ」と「ファミリー広場」を提供しております。



2 グンゼスポーツ スポーツを楽しむ世代代替の交流。高齢者の安全が図れる地域の健康増進向上を目的。市民の健康づくりを支援します。



3 青池学園 【すべては学生のために】をモットーに画・数・理・音楽の様々な技術と知識、豊かな人間性を培います。





4 広買堂カフェ 昼食をテーマにしたメニューの提供。イベント、セミナーの開催を行い、地域の「コミュニケーションカフェ」の役割を担います。（建物1階）



6 富山市医師会看護専門学校 准看護師・看護師を目指すあなたへ

働きながら学べる学校
あなたの未来 見つめませんか？
命の尊さ 感じませんか？

- 准看護学科 1学年定員 90名
- 看護学科 1学年定員 60名




5 パティオと2階デッキ 多目的交流・地域活動の拠点として多目的に遊んでご利用頂くことを目的としています。



富山市まちなか総合ケアセンター（全国初 市直営の産後ケア施設）

施設の概要です

【延床面積】 2446.61 m²

【構造】 鉄骨造（3階建）

【駐車場】 5台

【整備手法】 PPP 方式

【売買契約額】 1,149,120 千円

【他】 在宅訪問用モビリティ、災害時用電源 25h 確保

●産後ケア応援室

【対象者】 富山市に住民票がある、概ね産後 4 か月までの母親とその子で育児に不安がある方、家族支援が受けられない方

【事業内容】 居室 5 室・デイケア・宿泊・教育（毎週火曜日 10 組）

【営業時間】 24 時間体制（年末年始 12/29～1/3 除く）

【配置職員】 助産師、保育師、社会保健士、精神保健福祉士等

●病児保育室

【対象者】 医師による「診療情報提供書」に基づき、病児保育室での病児保育が可能であると診断されている病態であり、富山市に住所を有する

◎満 6 か月以上の未就学児(お迎え型は満 1 歳以上)10 名

【実施日】 月～金曜日（土・日曜日・祝日年末年始 12/29～1/3 は除く）

【保育時間】 7：30～19：00

●こども発達支援室

【対象者】 乳幼児からの発達の気になる子どもと保護者

【事業内容】

- (1) 児童発達支援事業
- (2) しょうがい児相談支援事業
- (3) 発達しょうがい児相談支援事業
- (4) 乳幼児発達支援相談支援事業
- (5) 事業者のネットワークづくり事業

【実施日】 月～土（日曜日・祝日・年末年始 12/29～1/3 は除く）

【営業時間】 8:30～17:00

【配置職種】 保育士、児童指導員、社会福祉士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、臨床心理士、保健師、看護師等

●まちなか診療所

地域の在宅医のサポートを通じ、かかりつけ医を中心とした在宅医療を推進するための診療所です。

【利用対象者】

- ・在宅医療を受けおられる方で主治医から依頼があった方
- ・通院できないなど、訪問診療の対象となる方で、地理的要因または病状により他の診療所などからの訪問診療が受けられない方

【訪問対象エリア】 富山市

【スタッフ体制】 常勤医師 3 名、常勤看護師 2 名

【特色】

- ・在宅医療に特化（外来診療は行わない）
- ・24 時間 365 日往診対応
- ・主治医の訪問診療サポート

【診療時間】

- ・午前 9 時から午後 5 時
- ・休診日 土曜・日曜・祝日、年末年始（12/29～1/3）



【まちなか診療所の機能】

- 主治医の往診をサポート
 - ・主治医の不在時に往診を代行
 - ・褥瘡処置など、主治医だけでは対応が難しい場合に主治医に代わり往診
- 訪問診療を必要な期間交代
 - ・床ずれの処置や終末期など、頻回な訪問が必要となった場合に訪問診療を交代
- 病院等から在宅への移行を支援
 - ・医療資源の乏しい地域への訪問診療
 - ・終末期の患者さんへの訪問診療
- 落ち着いたら主治医に紹介
 - ・いったん、まちなか診療所で訪問診療を行った場合でも、状態が落ち着けば地域の診療所を紹介
- 研修・実習の場
 - ・学生や実務者の実習受け入れ
- 在宅医療の啓発
 - ・在宅医療について市民や専門職へ啓発



富山市まちなか総合ケアセンターとは…

富山市まちなか総合ケアセンターでは、子育て支援や、在宅医療、地域コミュニティ（ソーシャルキャピタル）の醸成などを推進するための事業を展開し、乳幼児から高齢者、障害者を育む、全ての地域住民が安心して健やかに生活できる健康まちづくりを

推進します。さらに、輪曲輪レガートスクエア内の民間施設と協働事業を展開し、行政や大学、企業、NPO法人、地域住民などが一体的、持続的に健康まちづくりに取り組む仕組みを創出することを目指しています。

産後ケア応援室



産後のお母さんの心身の回復と、お子さんとの新しい生活を安心して過ごすことができるようサポートします。



3F



病児保育室



お子さんが体調を崩し、保護者が仕事などで家庭保育できない場合、保護者の代わりに保育看護を行います。

まちなか診療所



訪問診療など、在宅医療のみを行う診療所です。（外来診療は行いません）

医療介護連携室

まちなか診療所の診療相談をはじめ、在宅医療・医療介護連携などに関する相談支援、研修会を行います。

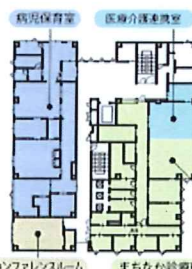


カンファレンスルーム

医療・介護関係者とケア会議などを行います。



2F



まちなかサロン



多世代にわたる市民が参加できるイベントなどを行います。

地域連携室



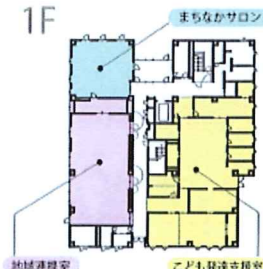
健康づくり、介護予防、在宅医療や介護などに関する研修会を行います。

こども発達支援室



心身の発達の流れが心配されるお子さんへの早期支援と保護者の不安軽減を図るため、相談や訓練など、切れ目のない支援を行います。

1F



非常に素晴らしい施設でも来たくても来れない方の対応として、市内7箇所ある、保健福祉センターで地域住民の情報を特に検診日の情報を総合ケアセンターに流し対応しているようです。

【Share金沢】

社会福祉法人佛子園の理事長としてしょうがい者の働く場や高齢者向けの介護施設などのコミュニティ施設を立ち上げた雄谷良成氏が今回この子ども、高齢者、しょうがい者、みんながごちゃ混ぜで暮らせる街づくり「シェア金沢」を完成させました。施設の中で「三草二木 西園寺」は最初に街づくりに取組んだ事業で、「シェア金沢」や輪島市の街づくりの原型になったようです。

(三草二木 西園寺の紹介)

2008年に廃寺。高齢者デイサービス、生活介護、しょうがい者の就労継続支援などのサービスが利用できる社会福祉施設にして、老若男女誰でも気軽に集まれるコミュニティセンターになりました。設立以来、いろいろな人が温泉につかって、お堂の中に集まって飲み食いしながらわいわいと話すというのが日常風景となり、地元の農産物が買える市も定期的で開催したり、お堂ではライブやコンサートも開いているので常に人で賑わっているようです。住民同士が分け隔てなく、ともに支え合い、暮らしを営むための拠り所だったお寺が今に蘇ったようです。

(三草二木 西園寺設立で人が集まるコミュニティのヒントを得る)

西園寺の地域では6年間で55世帯から69世帯に増え、それまでは減少地帯だったのにいきなり人が増えたようです。その理由の中に以下の答えがあったようです。

- ・西園寺にはいろいろな人がいて、ほどよい距離で過ごせることがとても快適だった⇒若い人たちも地域外に流出しなくなって実家の近くで家を建てて住むようになった⇒それを見ていた他の地域の人も、このコミュニティは何だかおもしろそうだと思って住み始めた⇒『世帯数増』

(シェア金沢のコンセプト)

「高齢者も、若者も、子どもも、しょうがいのある方もない方も、ごちゃ混ぜで楽しく暮らせる町」

(シェア金沢の概要)

約 11,000 坪

施設：サービス付高齢者向け住宅や訪問介護施設、知的しょうがい児童の入所施設などの福祉施設、アトリエ付学生向け住宅を設置。また協同販売、天然温泉、レストラン、ライブハウスなどのアミューズメント施設や農園、クッキング教室など人と人との交流を楽しむ施設機能もあり。その他、クリーニング店、全天候型グラウンド、ドックラン、アルパカ牧場などを設置し、住人同士の交流はもちろん、地域の従民が楽しく集える街となっています。

各施設やお店には、しょうがいをもつ人たちが元気に働いていました。

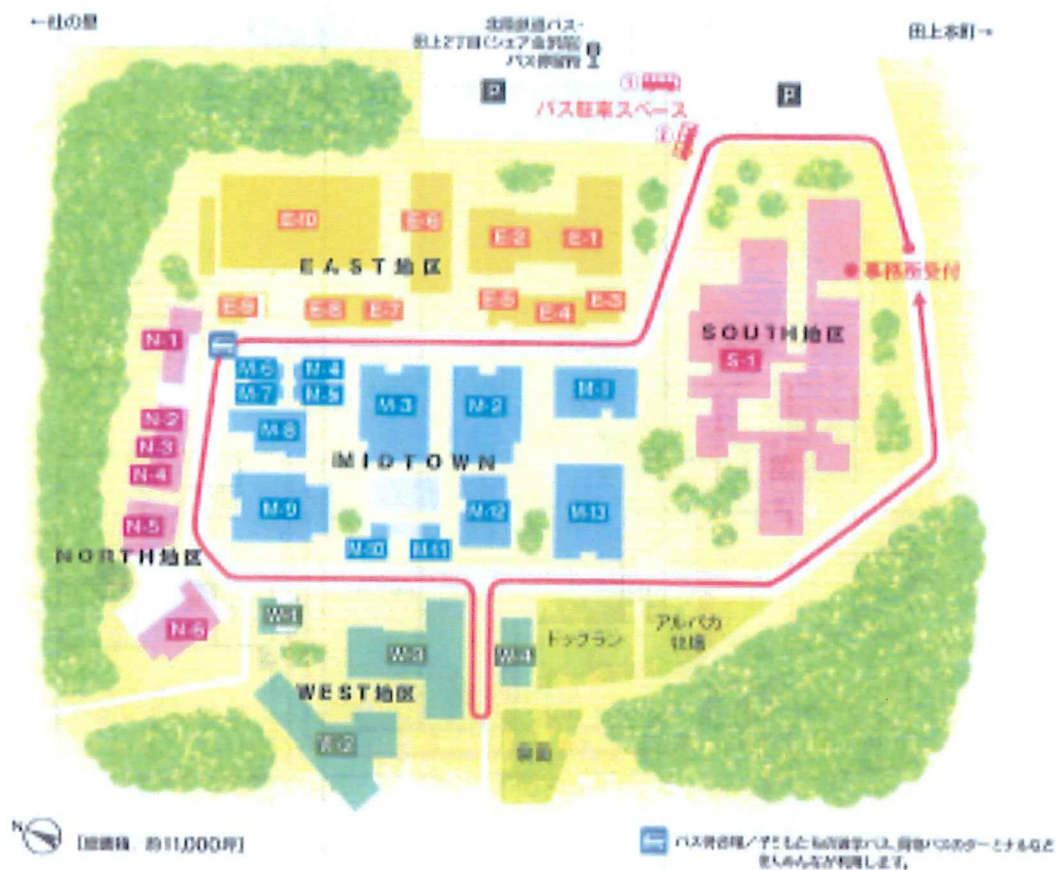
(日本版 CCRC 構想のモデル事業)

日本版 CCRC は、「生涯活躍のまち」と定義付けされて、高齢者の移住先という解釈をされていますが、正確な解釈ではありません。ここが日本版 CCRC のモデルになっているのは高齢者ばかりではなくしょうがい者も子どもも、それぞれ存在自体に意味があって、関わることでみんな元気になっていくという意味です。

(しょうがいの有無に関わらず、いろいろな人がごちゃ混ぜで生活するということのメリット)

- ・知的しょうがい児や高齢者たちにとっても、様々な人たちと関わるのがすごく大事。例えばしょうがい児たちはただでさえ上手に人間関係を作るのが難しいですが、いろんな人と自然に関わる環境においてあげるとそれがうまくできるようになる。そうすると社会に出ても周りの人々とうまくやっていける可能性が高まる。
- ・同じしょうがいをもつ人でも軽度の人自分よりも重いしょうがいをもつ人に対し力になってあげたいと思い、元気が出たりするし、認知症の人でも子どもと一緒にいると元気になったりする。

シェア金沢はこんなところです。



SOUTH地区

- S-1地区** 天然温泉
ニューもも亭(レストラン)
S-Grill(配達サービス)
高齢者デイサービス・生活介護・訪問介護

EAST地区

- E-1地区** E-2地区 児童入所施設
- E-3地区** S-ステーション
- E-4地区** クリーニング&コインランドリー「おしゃれ洗剤 ハンスプラス」
- E-5地区** バックヤード
- E-6地区** 児童発達支援センター「S-ベランダ」
- E-7地区** 「PSI-地域スポーツシステム研究所」
ネイチャー・コミュニケーション
「NPO法人 ガイア自然学校」
シェア金沢学童保育
- E-8地区** アトリエ付き学生向け住宅
- E-9地区** 全天候型グラウンド「S-Stadium」

MIDTOWN

- M-1地区** 児童入所施設
- M-2地区** サービス付き高齢者向け住宅
- M-3地区** サービス付き高齢者向け住宅
- M-4地区** 学生向け住宅
- M-5地区** 学生向け住宅
- M-6地区** 学生向け住宅
- M-7地区** 学生向け住宅
- M-8地区** 産前・産後ケア施設「子どもで応援1,2,3UN」
- M-9地区** サービス付き高齢者向け住宅
- M-10地区** 学生向け住宅
- M-11地区** 学生向け住宅
- M-12地区** 児童入所施設
- M-13地区** サービス付き高齢者向け住宅

NORTH地区

- N-1地区** 日用品・生活雑貨「若松共同売店」
- N-2地区** 伊豆アキアからた巻「金澤山山ゆらり」
- N-3地区** ブータン・セレクトショップ「TAPAYANA JAPAN」
- N-4地区** Planning & Creative「グルーワイ」
- N-5地区** Publish Bar「Mock」
- N-6地区** Foods & Smile「健康キッチンスタジオ」

WEST地区

- W-1地区** アトリエ付き学生向け住宅
- W-2地区** サービス付き高齢者向け住宅
- W-3地区** サービス付き高齢者向け住宅
- W-4地区** 「ウクレレバイ子会」

シェア金沢

Tel:090-1195 金沢市鶴岡町7-104番1 Tel:076-255-1010
E-mail:sharekanazawa@busan.co.jp

以上